

頑張ろう！被災者のみなさん。

支援金を被災地・被災者へ

水戸・盛岡・仙台・関東

JR 東労組
JR 貨物労組・貨物労連

JR 総連武井員長と五連協(鉄研労・システム労・聚楽労組)の代表らは6月17日から2日間にわたり被災した組合員の所属する水戸、盛岡、仙台のJR 東労組とJR 貨物労組の地方本部事務所を巡り、支援金を手渡しました。また20日には関東近辺で、被災組合員の所属地方本部を訪れ、支援金を手渡してきました。

この間、加盟単組の組合員やOB会員をはじめ、ICLS(国際労働者交流センター)に加盟する世界各地の労組、一般の方からも寄せられた「支援カンパ」は1千308万129円(6月6日現在)にのぼり、JR 東労組とJR 貨物労組の取り組みを加えると5千万円を超える大きな額となりました。支援を寄せていただいた組合員に心より感謝します。

被災地では瓦礫の撤去は徐々に進んではいませんが、津波に曝され荒涼とした町の風景は、今でも全く変わっていません。さらに、何人かの組合員やご家族は今もなお、避難を余儀なくされています。まだまだ、復興には相当の時間と労力と知恵を要することは想像に難くありません。

JR 総連は、これまで被災地に支援物資を届けるとともに、JR 総連総合共済の給付では、申請から給付までの迅速化を図り、たいへん喜ばれています。さらにボランティア活動への取り組みも本格化しています。

これからも暖かい気持ちで長期的に、物心両面の支援を続け、復興をめざします。



(写真左上から) JR 東労組水戸地本 / JR 東労組仙台地本 / 被災地を訪れていた今野東参議院議員と偶然、高速道路のSAで出会う / 瓦礫が取り払われ雑草が生え始めた野蒜駅 / JR 貨物労組東北地本と貨物労連。文化座友の会仙台講演で激励に訪れた佐々木愛さんとも偶然遭遇 / JR 東労組盛岡地本